主な質疑応答

（質問）台東区長選・台東区議選の選挙速報の遅れについて

　開票の情報について、予定通りもらえず、新聞の発行に影響が出た。報道機関としては、区民などの読者に情報を迅速に伝える義務を果たす必要があるため、随時必要な情報をいただきたい。今後、参院選も控えている、区民・都民に情報を早く伝えるという意識をもって、今回のような体制を改善していただきたい。

（回答）

　区民の皆様に早く知らせることは必要で、そのために早く公表することは当然だと思っています。この点について、選挙管理委員会によく話をしていきたいと思います。

（質問）児童相談所の設置について

　今日、児童虐待防止法改正案が閣議決定され、その中に中核市と特別区の設置推進の項目が盛り込まれている。

　法改正により設置が可能となっているが、広域調整の難しさもあり、23区でも温度差があると思う。区長の児童相談所の設置についてのご意見をお聞かせください。

　（回答）

　現時点で、台東区は子供の虐待など様々なことについては子ども家庭支援センターで対応し、都の児童相談センターとも協議し対応している状況です。

既に23区では、荒川区、世田谷区、江戸川区が先行していますが、台東区がどうするかについては、機能、運営方法を検証し、どういう中身の児童相談所を作るか、子どもたちにとってどういう児童相談所が良いのかということを見据えながら、方向を考えていきます。

（質問）

区有地を活用したスポーツ施設の整備について、具体的に決まっていることがあれば教えてください。

（回答）

　区内にはリバーサイドスポーツセンターやたなかスポーツプラザ、柳北スポーツプラザなどがあります。これから整備する施設について、具体的に場所は決まっていませんが、これから地域の方とよく相談していく中で進めていきたいと考えています。

（質問）江戸ルネサンス事業について

来年度に実施する目玉事業、もしくは思い浮かべているものなどあればお聞かせください。

（回答）

まず、伝統工芸についてですが、今月「江戸たいとう伝統工芸館」がリニューアルオープンします。大変人気のある施設です。ワークショップなど実施し、魅力をアピールしていきたいと思っています。江戸ルネサンス事業については、今年は昨年の延長で、見せる、楽しむという内容で企画しています。期待していただければと思います。

（質問）「子どもと若者総合支援施設の整備」について

どんな施設か、どんな支援につなげていきたいかをお聞かせください。

（回答）

障害福祉施設である松が谷福祉会館の改築のことですが、現在は、若者の発達障害にも活用されています。この施設を改築して、単なる障害者施設ではなく、こどもから若者の総合相談も含めた機能を取り入れていきます。地域や障害者団体の意見をお伺いしながら、良いものにしていきたいと考えています。

（質問）子育て支援と高齢者施設についてどうお考えか。

（回答）区政運営の一番の基本は、安全安心です。街の安全安心もあれば、人の安全安心もあります。人という点で、安心して子育てができるまちに向けて、出産期から子育て期まで切れ目のない子育て支援をしています。また、妊婦健診、妊婦歯科健診などを実施しています。待機児童については、これまでも施設を整備してその解消に努めていますが、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

特別養護老人ホームの再整備は進めていかなければならないと思っています。

また、他自治体でも実施している地域包括ケアシステムについては、台東区では医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護団体など関係団体と一体となって活動しています。昨年フォーラムを実施し、４００名の方が集まりました。「台東モデル」ではありませんが、台東区では町会の方も協力的です、地域と一体となって、地域包括ケアシステムの推進に、力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

（質問）職員に対してのメッセージなどをお聞かせください。

（回答）区の職員は、大変すばらしい発想を持って、区の事業に取り組んでいます。今後も大いに期待しています。区民視点に立って、区民に寄り添いながら、働いていただきたいと思います。

（質問）顔ぶれのかわった区議会との関係はどのように構築していくか。

（回答）議会とはよく相談しながら、区政運営を進めていきたいと思っています。ともに、主張、審議しながら、互いに高め合っていくことも大切だと考えています。